

## 第22回 規制改革推進会議終了後記者会見 議事録

1. 日時 : 令和6年12月25日(水) 18:19~18:25
2. 場所 : オンライン
3. 出席者:  
(委員) 富田哲郎議長

○事務局 それでは、第22回規制改革推進会議の終了後のブリーフィングを行いたいと思います。

最初に、富田議長からお願いします。

○富田議長 富田でございます。よろしくお願いいたします。

本日、石破総理、平大臣に出席いただきまして、第22回規制改革推進会議を開催いたしました。

今回の会議では、これまでワーキング・グループの中で議論してきた改革事項について、中間答申として取りまとめを行いました。議論の詳細については、後ほど事務方に御確認いただきたいと思いますのですが、非常に活発な議論が展開されました。特に、地方の活性化、成長型経済を実現していくため、人口減少、あるいは少子化、高齢化といった課題に対してどう向き合っていくべきか、議論を行いました。

こうした社会課題を、時代の変化、環境の変化、何といてもAIを中心とするテクノロジーの進化を踏まえて解決していく、そして、地方を元気にして、活力を取り戻していくということを中心に中間取りまとめを行っております。

特に、地方創生や人手不足対応については、所有者不明土地の工場や農地への迅速な利活用、地域でのオンライン診療の円滑化、あるいはロボット農機の公道走行の制度化といった取組、イノベーションを促進させるための医療データの利活用による創薬の加速化、また、防災・減災の分野では、災害時のキッチンカーによる機動的な対応の促進、こうした改革事項の取りまとめを行ったところでございます。

これらの取組を着実に、スピード感を持って実行していかなければならないと思いますし、先送りできない課題に正面から取り組む姿勢で、来年の年央の答申に向けて精力的に議論し、地方の課題を起点とする規制・制度改革を推進してまいりたいと思います。

ライドシェアにつきましても、移動の足不足の状況は依然として深刻であると認識しております。当面は特に移動の足の確保が重要な中小都市に重点を置いてモニタリングを行いまして、定期的に検証・評価を実施し、今年6月に閣議決定された骨太方針に基づいた対応を行ってまいります。

私からは以上です。よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

それでは、質疑に移りますが、議長は10分程度で退室の御予定ですので、技術的なものは後ほど事務局がお答えしますので、まず議長への御質問をお願いしたいと思います。

質問がある方は挙手をお願いします。オンラインのほうはいかがですか。

(挙手なし)

よろしいですか。

では、ありがとうございました。

これ以降は事務局のほうで対応いたします。

○富田議長 どうもありがとうございました。よろしく願いいたします。